看護部教育 クリニカルラダー

看護部の理念 私たちは、人間の生命・人間としての尊厳及び権利を尊重した看護を提供します
 教育目標 都留市立病院の理念と方針を理解し、組織に貢献できる人材の育成

構成要素 到達目	看護実践能力			倫理的能力	自己教育的能力	組織的役割遂行能力	研究する力	
	ケアする力	ニーズをとらえる力	協働する力	意思決定を支える力	自己教育	役割・責任・経済性	研究	
	安全/感染	看護実践力	在宅・連携	倫理	役割発揮・自律	組織運営・管理	看護研究	
	ラダー別 大目標	安全・感染対策マニュアルに基づき、危険を予測した対策をたてることができる。また適切な感染対策が実践できる	患者の全体像を捉え個別性に 応じた適切な看護を実践できる	退院を見据えた継続看護を実 践し、地域にも貢献できる	自身の倫理観を育て、患者・家 族・地域の人たちの意思を尊 重した看護が提供できる	自身の強みを活かし、看護の 専門性の発揮、管理、教育的 役割モデルとなる	組織の一員として自覚を持ち、 運営面も視野に入れ、部署の 目標達成に向けて取り組むこ とができる	臨床看護研究ができる能力を有 し、看護を創造することができる
専門性の発揮、管理・ 教育的役割モデルと なることができる	1	1 医療安全・感染発生時等危 機管理が必要な状況におい てマネジメントができる	1 患者の病態予測を行い看護 実践に取り組み、指導 できる	1 在宅医療と地域包括ケアの リーダーシップを発揮し、多 職種と連携して患者や家族 に最適なケアを提供すること ができる	1 部署の倫理的な問題解 決に向けて推進役を果たす ことができる。豊富な知識か ら、様々な案を提示すること で意思決定プロセスを促進 することができる	1 看護管理者の役割モデルと して、模範的行動を取ること ができる	1 社会や医療の動向を踏まえ て、自施設・部署の現状 分析を行い、看護の質向上 や経済的な課題を見つけ、 解決策を考えることができる	1 部署において、スタッフが主 体的に研究できる環境を整え る
	2	2 医療安全対策・院内感染防 止対策について、他部署と 協働実践できる	2 複眼的な視点から患者の複 雑な状況や多様なニーズを とらえ、必要な介入を判断 でき、それをスタッフに指導・ 助言できる	2 患者の生活支援と地域貢献 に取り組み、健康教育や啓 発活動を通して地域全体の 健康意識向上に寄与する	2 複雑な意思決定プロセスに おいて、多職種を含めた調 整的役割を担うことができる	2 指導者として後輩教育の役 割(新人教育、後輩教育、実 習指導)を担うスタッフへの 指導や支援ができる	2 現状分析から得られた課題 への解決策に、主体的に取 り組み、看護管理プロセスを 実践することができる	2 研究活動を推進し、看護の質 の向上に貢献できる
	3	3 部署の特殊性や状況から、 起こり得るリスクを予測し 安全対策及び感染予防が 実施できる	3 円滑なコミュニケーションを 図り、各患者にスムーズな 対応ができる	3 地域全体を俯瞰して、ニー ズに対して不足している機 能に気づき、多職種に働き かけることによって解決を 図ることができる	3 複雑な意思決定場面におい て、患者の尊厳を尊重した 意思決定のために、適切な 資源を積極的に活用し調整 することができる	3 自己研鑽と共に看護管理学 を学び、看護管理者の役割 が遂行できる	3 部署における看護ケアの 質を評価し、スタッフを巻き 込み改善策に向けて取り組 むことができる	3 看護研究を臨床に応用し、業 務改善ができる
	4	4	4 患者に対し、起こりうる課題 を予測して専門・認定看護 師など専門家の関りを提案 し、調整できる	4 多職種を中心的に巻き込 み、各職種が役割発揮でき るよう、チーム内の目標を共 有して結束して関わることが できるような連携を促進す ることができる	4 患者および家族の思いは 日々変化していることを念頭 に行動することができ指導・ 教育ができる	4 常に専門的知識の啓発と自 ら知識・技術の向上のため に行動することができ指導・ 教育ができる	4 自施設の経営改善および業 務改善に、主体的に取り組 むことができる	4
	* CNSの6つの役割、CNの3つの役割を軸とする							
	1	1 医療安全委員会、感染対策 チームと協働して、安全な環 境への構築に取り組むこと ができる	1 複雑で解決困難課題に関連 した情報を収集し、根拠に 基づいた全人的アセスメント により問題となる課題を明ら かにすることができる(CNS)	1 患者や家族、保健医療福祉 従事者との関係やチームの 力量を把握したうえで、患 者にとって最も効果的な調 整になるかを考え、意図的に 介入することができる(CNS)	1 倫理的な課題を見極め、価 値の対立を明らかにし調整 することができる(CNS)	1 スタッフに対して、専門的な スキルを指導し臨床現場全 体が水準の高いケアが行え るように育成する(CN)	1 組織横断的なコンサルテー ションを行うことができる	1 看護実践を研究的視点で分析 し、明らかにしたことを関連 学会等で発表することができる
	2	2 部署の特殊性や状況から、 起こり得るリスクを予測し 安全対策及び感染予防が 実施できる	2 高度な技術と知識を用いて 患者および家族へ、よりよい 看護を提供することができる (CNS、CN)	2 患者の生活支援と地域貢献 に取り組み、健康教育や啓 発活動を通して地域全体の 健康意識向上に努める (CNS、CN)	2 倫理的な課題が何かを見極 め、スタッフとともに価値の 対立を明らかにすることが できる(CN)	2 スタッフのケアの課題解決 能力を高めることができよう 教育的支援を行うことが できる(CNS)	2 業務効率化と看護の質向上 に取り組み、新しいシステム の導入やスタッフ育成を通じて 患者満足度を高める	2 看護の質の向上のために、ス タッフが自らの看護実践を研 究的視点で振り返ることが できるように指導、助言が できる
	3	3	3 看護実践を通してスタッフに 対して指導することができる (CN)	3 それぞれの領域の専門的な 知識や技術を活かし、多職 種と連携を図り適切なケア の提供ができる(CNS、CN)	3 スタッフの役割モデルとな り、スタッフが倫理的感性を 高めることができるよう働 きかけることができる(CNS、 CN)	3 専門分野から部署の看護 実践の問題を焦点化し問題 解決に向けて取り組むこと ができる(CNS、CN)	3 部署における看護上の問題 を看護管理者と共に解決に 向けて取り組むことので きる(CNS、CN)	3 それぞれの分野の領域の専 門的知識や技術を深め、根拠 に基づいた実践に向けた研究 活動を行う
	4	4	4 看護実践や多職種連携によ る効果をスタッフにフィード バックすることができる (CNS)	4	4 倫理教育を行い、組織全体 の倫理意識を高めることが できる(CNS、CN)	4 専門分野の知識を更新し、 看護実践に活かし、看護の 質向上をはかる(CNS、CN)	4 部署の組織分析を行い、質 の高い、効率的なケアを実 施する中心的な役割を担う ことができる	4 研究成果を看護実践に活用 し、それを評価することが できる
	あらゆる状況において 予測的判断ができる	1	1 医療安全、院内感染防止に 関する問題を改善するため に主体的に対策を提供す ることができる	1 患者・家族の立場や状況を 見極め、安定的な援助的関 係を維持することができる	1 患者・家族のニーズを充足 するために保険・医療・福祉 サービスの継続性が保証で きるよう調整することが できる	1 患者および家族の意思決定 に伴うゆらぎを共有でき、選 択を尊重できる	1 自己のキャリア形成につい て具体的な展望を持ち主体 的に自己研鑽することが できる	1 部署の組織分析ができる
2		2 提供した対策を継続して実 践できるようスタッフへ働き かけられることができる	2 様々な技術を選択・応用し 看護を実践することができる	2 患者を取り巻く多くの多職 種の力を調整し連携できる	2 倫理的問題の解決に向け権 利擁護に向けた行動を取 ることができる	2 他職種と協働し看護の役割 を發揮することができる	2 自施設の目標及び看護部 の目標達成に向けて主体的 に活動することができる	2 研究のプロセスを踏み、課題 に取り組むことができる
3		3 危機を予測し部署の安全 ・感染管理体制を整える ことができる	3 幅広い視野で予測的判断を 持ち看護を実践することが できる	3 今あるリソース(人・物・シ ステム・制度)を最大限に活用 し、ケアに活かすことが できる	3 円滑なコミュニケーションを 図り、患者および家族の意 思決定に必要な情報提供や 場の設定ができる	3 後輩育成の役割(新人教 育・後輩教育・実習指導)を 果たすことができる	3 診療報酬に必要な看護が適 切に実践できるよう主体的 に取り組むことができる	3 看護研究を通し、看護実践 力を高めることができる
4		4	4	4	4	4	4	4 研究的視点をもち指導 できる
全体像を捉えその人 の価値観を尊重する 看護ができる	1	1 医療安全・院内感染マニ ュアルを熟知し、主体的に 行動できる	1 対象の個性を捉えた(統 合)ニーズをアセスメント できる	1 多職種を含めたカンファレ ンスを開催し、患者および家 族の意向を組み入れた支援 ができるよう主体的に行動 することができる	1 医療倫理・看護倫理上の問 題に気づき、問題提起す ることができる	1 自己学習活動に積極的に取 り組むのみならず、指導的 役割を發揮できる	1 看護ケアの質の評価を行 い、看護の質向上に向けた 改善の手立てを提案す ることができる	1 看護研究の意義・目的を理 解して研究的態度を身につ ける
	2	2 部署内の医療安全・感染防 止に関する問題提起す ることができる	2 患者の個性を踏まえた看 護を実践できる	2 退院支援を活用し、地域連 携室と協働し支援できる	2 患者・家族にわかりやすい 説明と必要な情報提供を 行い、意思決定を支援す ることができる	2 看護実践モデルとして模範 的な行動が他者に示すこ とができる	2 診療報酬と看護実践との 関連について理解できる	2 看護実践者としての意識を 向上し、看護観を深める
	3	3	3 患者の状態変化を予測し、 急変時など主体的に対応 ができる	3 積極的に他職種に働きか け、協力を求めることが できる	3 看護倫理の基本的原則を理 解することができる	3 研究的態度を身につける	3 自施設の目標、及び部署 (看護部)の目標達成のた めに、組織の一員として 活動に参加し自己の役割 を遂行できる	3 自己の看護実践を通して、 自らの看護の課題に指導を 受けながら研究に取 り組むことができる(前期)
	4	4	4	4	4	4	4	4 実践した看護を科学的な視 点でケーススタディとして まとめることができる(後 期)
根拠に基づいた看護 を実践することができる 後輩とともに学習す ることができる	1	1 医療安全マニュアルに基づ き安全に留意した行動がと れる	1 患者の個性を踏まえた ニーズをとらえることが できる	1 関連した情報を多職種と情 報交換できる	1 倫理綱領を理解し患者・家 族の思いを尊重した行動を とることができる	1 チーム内での自分の役割を 把握し、チームメンバーに 協力して行動できる	1 患者の状態を正しくとらえ たうえで、看護必要度の評 価ができる	1 自己の課題を見出し、文献 学習をすることができる
	2	2 マニュアルに基づき患者に 応じた感染防止対策が できる	2 得られた情報をもとに患者 の全体像としての課題をと らえることができる	2 入退院支援に関連した情報 収集ができる	2 規律を守り、自律した行動 をとることができる	2 ケースレポートを通して日 常の業務実践の中での看護 行為を振り返ることが できる	2 病院・看護部の理念を理 解し組織の一員として目 標達成に向けて行動 できる	2 自己の看護実践を根拠をも って意味づけることが できる
	3	3 インシデントの内容を把握し 再発防止行動がとれる	3 患者の状況に応じた看護 を実践できる	3	3	3	3	3 自己の看護実践を振り返 り、自らの課題をケースレ ポートにまとめることが できる
	4	4	4 患者の状態変化を予測し、 急変時などは指導を受け ながら対応できる	4	4	4	4	4
基本的な手順に従 い、助言を受けて看護 を実践できる	1	1 医療安全・院内感染マニ ュアルを理解し行動できる	1 助言を受けながら身体的・ 精神的・社会的・スピリチュ アル的な側面からニーズを とらえることができる	1 地域における自施設の果た す役割と位置づけを理 解できる	1 倫理的問題に気づき相談 できる	1 チーム医療の構成員として の役割を理解し協働す る	1 看護必要度評価が正しく行 える	1 看護実践における問題解決 のために必要な文献検索 を行う
	2	2 インシデント発生時の対応 及び報告が適切に行える	2 助言を受けながら患者・家 族の思いや考え、希望を知 ることができる	2	2	2	2 如置入力、物品の取扱いが できる	2 自己の看護実践の課題を見 出すことができる
	3	3	3 患者の急変時は指導を受け ながら対応できる	3	3	3	3 病院・看護部の理念・目 標について理解できる	3 看護過程を展開し、ケース レポートにまとめること ができる
新人	1	1 医療安全・院内感染マニ ュアルを理解し指導をうけ ながら行動できる	1 指導を受けながら・身体的・ 精神的・社会的・スピリチュ アル的な側面からニーズを とらえることができる	1 地域包括ケアシステムにつ いて理解できる	1 看護専門職として自覚と責 任ある行動をとることが できる	1 看護チームの一員として自 分の役割を理解できる	1 病院・看護部の理念・目 標について理解できる	1 助言を受けて、看護実践を 振り返りケースレポートに まとめることができる